「智代子ぉ！頼む、おっぱい見せてくれぇ！
ちょっとだけ！ちょっとだけだから！」

!?

「し、しょうがないですね……
ほんとに、ちょっとだけ
ちょっとだけですよ……❤」

「やったぜ！」

へ？

「こ、これで、いいですか……❤」

「それとちょっとだけ、ちょっとだけなめさせてくれ」

きゅん♡

「大丈夫だよ智代子っ
ちょっとだけ、ちょっとだけ
入れただけだからっ
それとちょっと射精すわっ」

ハァ ハァ ハァ ハァ

あ あ あ あ

「プロデューサーさんっ……
これっ入って……ませんっかっ❤」

ぐぐ ぐぐ

ぱちゅ ぱちゅ ぱちゅ ぱちゅ

『はぁぁ気持ちいい……
お掃除までしてくれて
ありがとな智代子、
ちょっとだけだからな……
明日もちょっとだけしてくれ』

フーン フーン

「ち、ちょっとだけ、ですよ❤」

じゅ…ぢゅ♡

『こら摩美々、ここはお前の家じゃないんだぞ？
アイドルでもあるんだから、もう少し――――』
『とか言いますけどー、プロデューサーに
事務所の子を襲うような度胸、ないですよねー』

あっ

あっ

あっ

20:00
22:00
23:00
2:00
風呂、トイレ、ベッド……
場所がどこだろうがお構いなしに
摩美々の弱いところを突きまくってやった
射精しながら腰を動かしたり
摩美々がイってる最中に突いたり
するといい感じに意識が飛ぶらしい
こいつはしばらく使えそうだ
予定変更、従順な雌犬にしてやろう
『摩美々、お前しばらく俺の家にいろ
親には適当に理由つけて合宿がある
とか言っておけ、いいな』
ビュッ
ビクッ
ビクッ
ビク

『プロデューサー……』

『最近まのって事務所きてる？』

『ん？』

『あーそれなんだけど、何か聞いてないか？電話しても全然出てくれなくてな』

『んー……少し前の事なんだけど変な人に絡まれてね』

『え!?』

『いや、それと関係あるかはわからないんだけどね』

『レッスンの帰りにいきなりまのの前で土下座しはじめてね』

『ま、まのさんですよね!?あ、あの、ずっとファンで!!一生に一度でいいんです!!もしよろしければ僕と……手をつないで歩いてくれませんか!!』

まのの…いこう…

『あたしはとめたんだけど……あの子優しいから……』

『こ、こういったことは初めてで、ちょっと、緊張してしまいますが……』

『わたしでよければおちからになりますよ？』

『それからあんまり見かけなくなっちゃったからさ気のせいだといいんだけどね』

くちゅっ
くちゅ
ん…
んふ…
ハッ
ハッ
ハッ
ぴちゅっ
『まのちゃん、ケータイなってるよ』
『いいんですよ♥どうせプロデューサーさんですから今はおじさんのおちんちんご奉仕で忙しいんです♥』
ちゅこ ちゅこ
ちゅこ ちゅこ
『最近じゃ学校でもおじさんの事考えてムラムラしてるんです♥今日は金曜日ですから、いっぱい可愛がってください♥』
『まのちゃんはほんとにおりこうさんだね毎日学校行く前におはようフェラもできるし、こうして帰りもちゃんとおじさんの家に寄ってくれるんだからね』

んッ
んッ
んッ
ちゅぽんッ
ずぽぽっ
ずぽぽっ
ブッ
ブッ
ブッ
ズロロロ…
ビクッ
ハーッ
ハーッ
あッ
あッ
んッ
ビクッ
ビクッ
ビク

ちゅぷ
ちゅぷ
ちゅぷ
ちゅぷ

某日
ミーン
ミーン
ミーン
ミーン
おやす……み？
あれ……？
夏期休暇
8/12～8/16
『そういえばプロデューサーさんがそんなこと言ってましたね』
『うぅ、困りました……宿題をやってふでばこを忘れちゃったのに……』
夏期休暇
ミーン
ミーン
ふぇ
ガチャッ…
わッ!!
『あれ、開いてました』
『ふぇ？』
!!
イタタ…
催眠が使える空き巣
『あれ、おじさん見たことない人です！プロデューサーさんのお知り合いですか？』
『ん？おじさん、どうしたんですか？』
？

『君、果穂ちゃんっていうんだっけ？　さっき名簿で見たから覚えてるよ』

『ほんとに○学生なの？
かわいいねぇ、おちんちんは、おいしいかな？
おいしいみたいだね、もう3回も飲んでるもんねぇ』

『あーこらこら、もう舐めなくていいよ
尿道に残った精子まで吸い取って』

『あーそうそう、お口すぼめてちゅーちゅーしてね、あーいいよぉ、上手上手』

『いっぱいのめてえらいねぇ
そろそろ果穂ちゃんの具合いも良さそうかな』

『うんうん、よさそうだ
よしそれじゃちょっと体制を変えて……』

『あーまたw
ちょっと果穂ちゃん、そろそろおちんちん離してちょうだいよ』

『果穂ちゃんのしたのお口に
これからいっぱい飲ませてあげるから』

『パパ……あたし、おまたが変なの……❤』

『うんうん、ちゃんとパパって呼べてるね
しっかり効いてる、そのおまたの変なのは
パパがすぐによくしてあげまちゅからね』

フーフーフーフー

キュンキュン

『よし、それじゃあパパの
ちんぽ、果穂ちゃんの
ぷにすじロリまんこに
入れちゃうよぉ』

くちゅっ❤

『あーきつきつだ
ゆっくり入れてくよ』

あ…

アプッ…❤

『あぁ～入ってる
入ってる……！
もうすぐ根本までっ』

『あ……パパの
おちんちん…
すごい…太、い…』

『あああぁぁぁぁっ！
入ったぁ！入ったぞ！
◎学生のきつきつロリまんこにっ
根本までずっぽりっ入ったあぁ！』

『うっ❤うっ❤うっ❤
パパッ、おなかっくるしっ❤』

『フッ、フッ、大丈夫だよっ
すぐ気持ちよくなってくるからねっ』

えうッ!!

『パパのっ❤おちんちんが出るときっ❤
すごくっきもちっいいっ❤
なんかっおしっこでちゃいっそうっ❤』

『果穂ちゃんは催眠適正がバツグンだね
それじゃあ体制変えて一回だしちゃおうかな』

『パパッ❤パパッ❤
あたしおしっこでちゃいますっ❤
気持ちよくってっ❤おしっこ❤
でちゃいますっ❤』

『まだイクって感覚がわからないんだね
それじゃあパパと一緒に
おしっこしようか、
我慢せずにいっぱいだしなさいっ』

射精すぞッ

あわわッ

『あいっ❤あいっ❤
おしっこでましゅっ❤
おまた気持ちよくて
おしっこでちゃいましゅっ❤』

でるッ

『あああああっっっっ❤』

ボッ

ジョボッ

『ふー…久しぶりだったから
めちゃくちゃでた
果穂ちゃんは大丈夫かい？』

おっ

どゆるんっ❤

『君ほんとかわいいねぇ
ほら、パパとチューしよう』

ンッ…

んっ

ん…

ちゅ

ンフー

ンフー

『ンッ❤んむっ
パパしゅきっ❤』

もう一回ッ…
もう一回だけッ

あんッ

あ、あ、あ、

イッイグッ

あッんんッ

もう一回ッ

あッ

あッ

あ…

あ…もう…

[redacted]

『プロデューサー様のお知り合い……
そうでしたか、急な呼び出しでしたので少々、驚きました』

『凛世さんにはぜひ一度我々の番組に
出演していただきたいと思いましてね』

『今日は凛世さんとお話できてよかったです
プロデューサーさんのほうにも、
是非にとお伝えさせていただきますね』

『どうしました凛世さん？
今日はもう
お帰りいただいても
構いませんよ？』

ふー

ふー

む

あ…

わ

『申し訳ございません、なぜか
体がすごく熱く……』

『うぅ…すみません……
本当に、熱くて……』

『これはいけませんね
そういうことでしたら
一度交尾されていきますか？』

『は、はい……』

某日、夏季休暇で人がいないのをいい事に
やりたい放題の催眠が使える空き巣
今回はお手製の媚薬をお茶に混ぜ交尾へ

ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ
しゅり
しゅり

『ふおぉっ！　ふおぉっ！
ぷにたんがケツ穴ほじりおるわっ
たまらんんっ！腰浮くっ……！』

『んおぉぉぉっ！
◯学生みたいなおててっ股関に響くわっ
こりゃいかんっもれるもれる！』

にゅる
にゅる
ぷぴゅっ
シュッ
シュッ

チロ
チロ
チロ
チロ
チロ

『おじさんの
汚いとこそんな
丁寧にっ……！』

『あぁぁだめだっっ！
とりあえず一発射精すぞっ』

びゅっ
びゅるっ

『ほらお口あーんして
っふぅぅぅぅ……！』

『いっぱいごっくんできたねぇ
何も言わなくても自分からおまた広げて
我慢できないんだね』

『は、はい……よろしければ
そ、その…だ、男性のものを…中へ……』

ブッ
ブッ
ブッ
キュンッ
キュンッ

『んー？これなんていうかちゃんと
聞かせてくれるかなぁ？』

『そ、そんな…は、恥ずかしい、です……』

『言えるまではお預けだなぁ』

んぉ…
ヌプ…
しちゃ

『あっそ、そんなっ
手だけだなんて……切なくなって…』

『お、おちんちん…』

『んー？』

『おちんちん
欲しいです…』

おっ
おっ
おっ
おッ
おッ
フッ
ウッ

『よく言えましたっ
もう期待してるのが顔にでちゃって
ほんとに可愛いねぇ』

フッ
フッ
フッ
フッ
フー
フー

『お願いします……
凛世の中、かき回して
ください……』

ズチュッ

『おおっ入った！
ちっちぇぇぇ
あったけぇ……！
腰が勝手に動くわ！』

オッ!!
ホッ!!
フッ!!

『どうだい凛世ちゃんっ！
はじめての中年おやじのちんこの味はっ！
赤ちゃんの部屋ノックしてるのが
わかるかいっ！！！』

『これから毎日このロリぱい
しゃぶれるんだ、たまらんなぁ』

『くはぁぁぁっ！興奮してもう射精るわっ！
その未発達のロリボディでおじさんの
赤ちゃん汁全部受け止めろよっ！』

『はい…♥凛世のでよろしければ、いつでも…♥』

『わかりっますっ……♥
奥っすごいっあっ……♥もっと♥
突いてっくださいっ……♥』

『おぉぉぉおまだでるっ
どうせ誰もこねぇんだ
このまま一晩中やり倒すからな』

『ふぅぅぅ……射精中のちんぽに
むしゃぶりつく大和撫子最高だぜ
射精終わってんのに吸い付いて離さねぇ』
『凛世ちゃん気に入ったよ、
こないだの◯学生といい
ここはしぼり甲斐があるやつが多いな
一晩で終わらせるのはもったいねぇな……』
ガクガクガク

『こんラーメンうまかね！』

『ここらへんのラーメンはいっぱい食べたとやけど、こん店は知らんかったとよ！』

『そりゃあよかった、ここはおじさんの行きつけのラーメン屋でね店長とは知り合いなんだ』

『ごちそうさまー！こげんうまか店教えてくれてありがとうね』

『はは、汁まで飲んでwこりゃよく効きそうだ』

『効きそう？』

『それはそうと、こがねちゃんだっけまだ時間ある？もう一軒おすすめの所があるんだ』

『まだ教えてくれると？まだ19時やけんよかよー！』

『そっか！じゃあ食休みでゆっくり歩きながら向かおうかね、そんなに遠くないよ』

『ばり楽しみっ！ごちそうさま！』

『ふっふっっ！こがねちゃん、今知らないおじさんに中出しされそうになってるけどわかってる？』

パンッパンッ

ふっふっ

おっ

イッちゃ！

イッ！イッグッ

イッグッ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

チュッ

チュッ

チュッ

『わけわかんないうちに赤ちゃんできちゃうかもしれないけどッオッイクッ!!』

ドクッ

びゅくっ

びゅるっ

びゅるっ

びゅるっ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

『ザーメンおいしかった？あのラーメン一杯7万とかするんだよまぁこんな子とできるなら払うけどね』

びくびく

びくびく

お

おお

『さて、一服終わったら気分変えて衣装チェンジしようか今日は朝までおなかタプタプになるぐらい射精してあげるからね』

『こがねちゃんよく見たら陥没乳首なんだね
オナニーする時とか、出てきた乳首いっぱいいじってるのかな？』

フーッ
フーッ
フーッ
フーッ

『こんな恥ずかしがり屋のちくびちゃんは……こうして……』

くにくに
くにくに

ほっ
ほっ
ちっちく…
ふっふっ…おっおっ

『こうだっ!!』

じゅぽ
ぢゅぽ

ビクッ
ビクッ

『乳首がスイッチなのかこがねちゃんはこんなとろけた顔しやがって完全にスイッチはいったなこりゃ』

あ〜
あっあ〜
おまんこみ
きーもちー

ビーンッ
ビーンッ

『おーおーすげぇまんこ顔w
ザーメンほしくて
たまんねぇって顔してるな』

ぬっぷ
ぬっぷ

『こらこらっそんな
むしゃぶりついたら
口で出ちまうだろっ
尻こっちむけて』

ぬっ
ぬっ
ぬっ

『なんだスイッチはいるとまんこまで
締まるのかよ
さっきよりもきつきつだ』

ビクン ビクン
ビクン ビクン

あっ♡あっそこっおくっ

あっ♡イッ
イクッ

そんなッ♡おくっ
ばっかりッ

ひんッ
あぁ♡

『奥のほう入念に突いてやると
いい声で鳴くな
おら、着床させる気で射精すからな
しっかりまんこ締めとけよっ』

あッ…♡
イク…

ドチュ
ドチュ
ドチュ
ビクン
[redacted]
ビクン
ビクン
ビクン
[redacted]
ビクン
ビクン
ビクン

5時間後―

『もう10発以上は射精てると思うけどっ
全然おさまらねぇッ
このオナホール最高に気持ちいいわ
しっかりおじさんの赤ちゃん産んでねっ』

ズパン
ズパン
ズパン

ラーメン